

Technical News Bulletin

Steinhausen February 2016



FleXinspect – SCOUT™ テクノロジーによる強化

- 高度な検査技術の次の進化-SCOUT™
- ガラス容器の検査を改善および簡素化する技術の進歩。
- ガラス容器の検査に関連する複雑さの多くを取り除きます

Bucher Emhart Glass (BEG)、高度検査技術に新たな進化をもたらす

それは「SCOUT」と呼ばれるガラス・ビン検査の向上と簡易化を実現する技術進歩であり、現在すべてのFlexInspect BC、B、C検査機で使用できます。

BEGがFlexInspect検査機プラットフォームを市場に投入したとき、そのアピール・ポイントは「独自に構成可能で信頼性が高く、ガラス業界の絶えず変化するニーズに柔軟に対応できる」ことでした。

つまりFlexInspectは、技術の進歩に合わせて進化するように設計・構築された検査機プラットフォームと言えます。SCOUTはFlexInspectの次なる進化です。

SCOUTテクノロジーとは

SCOUTはソフトウェアです。

SCOUTはハードウェアです。

SCOUTは通信です。

SCOUTは情報です。

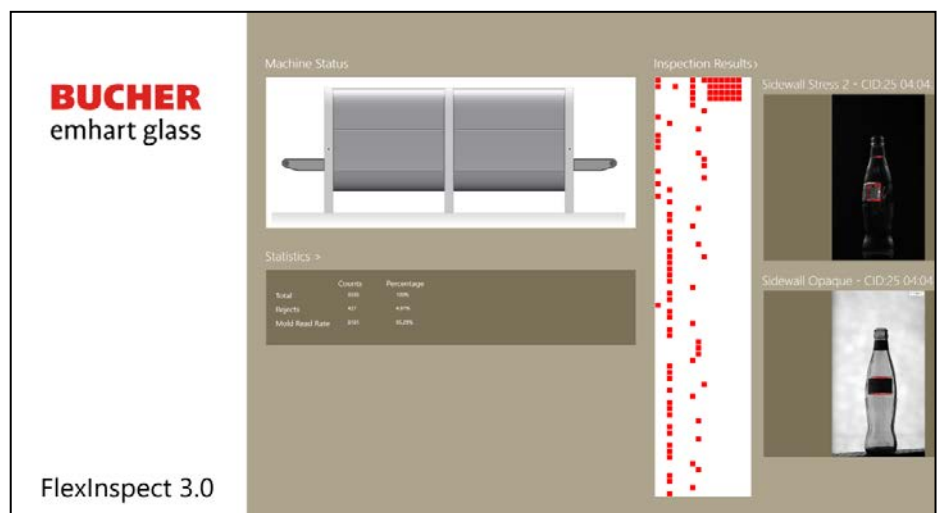
SCOUTは、FlexInspect製品が進化する新しい技術の力を利用するためのシステム・アーキテクチャです。

現在出荷されている

FlexInspect B、FlexInspect C、FlexInspect BCはすべて

、SCOUTテクノロジーを完全に装備している

マシン・オペレータにとって、今日のマシンの明白な違いは、使い勝手の向上したまったく新しくヒューマン・マシン・インターフェース(HMI)です。スマートフォンやタブレットで採用されているジェスチャベースのユーザー・コンセプトに従い、BEGは独自のユーザー操作エクスペリエンスを作り上げました。マシンの操作やセットアップをナビゲーションするこの新しい方法は、自動化、使いやすさ、単純化に焦点を合わせており、そのために精度や信頼性が犠牲になることもありません。



SCOUTテクノロジーには多くの特長や利点がある

新しくリリースされた検査ソフトウェアは、ガラス・ビン検査に伴う複雑さを大部分取り除きます。特定のサイズや色の欠陥しか検査ソフトウェアによって検出されないという時代は過去のものとなりました。新しいSCOUTテクノロジー・ソフトウェアでは、欠陥分類、自動学習される変動、事前設定された欠陥限度がすべての基盤となります。その結果、ガラス・ビンで見つかったさまざまなタイプの欠陥を確実に区別できるジョブを正確かつ迅速にセットアップできます。新しいHMIと実装された自動化により、ジョブ変更時間が大幅に短縮され、微調整の手間も少なくなります。

この新しい技術を使用できるマシン

現在稼働しているすべてのFlexinspect B、C、BCを、SCOUTテクノロジーが動作するようにアップグレードできます。Flexinspect TおよびFlexinspect MへのSCOUTの組み込みは現在開発段階にあり、今年後半にリリースされる予定です。これには、すでに現場に導入されているマシンのSCOUTテクノロジーへのアップグレードも含まれます。さらに、これらより古い製品ファミリーのSCOUTテクノロジー・プラットフォームへのアップグレードに関する情報も、BEGからまもなく発表されます。

最新のSCOUTテクノロジーの詳細については、Bucher Emhart Glassの営業アカウント・マネージャーにお問い合わせいただくか、<http://www.emhartglass.com/contact>で詳細情報を請求してください。